

都市再生整備計画(第3回変更)

うれしのししがいちちく
嬉野市市街地地区

佐賀県 嬉野市

平成28年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	佐賀県	市町村名	嬉野	地区名	嬉野市市街地地区	面積	990 ha
計画期間	平成	24	年度	～	平成	33	年度
				交付期間	平成	24	年度
					平成	28	年度

目標

大目標：地域特性を発揮するまとまり(集約)ある拠点の創出と安全・安心な市街地環境の形成

目標1：地域の個性や魅力の創出に向けた、拠点の形成…【魅せるまちの形成】

目標2：連携や交流、訪れる人を迎える「もてなし基盤」の創出…【誘うまちの形成】

目標3：みんなが暮らし続けたいと感じる安全・安心な生活環境の形成…【市民が親しめるまちの構築】

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 嬉野市(「以下「本市」と言う。)は、平成18年、旧嬉野町、旧塩田町が合併し誕生した市である。
- 本市は、長崎県と接する佐賀県南西部地域に位置し、北部九州有数の温泉地を擁するとともに、「うれしの茶」や長崎街道の面影を残す歴史的な街なみ等、観光資源に恵まれた地域である。
- 現在本市の広域的な交通手段は長崎自動車道のみとなるが、九州新幹線西九州ルート¹の整備において嬉野温泉駅(仮称)の設置が決定しており、都市活動、交流圏の拡大により、観光都市を機軸に広域圏における重要な役割を担う事が期待されている。
- 本地区(都市再生整備計画区域)は、長崎街道の宿場町として栄えた塩田、嬉野の拠点となる市街地である。
- 塩田町の中心部に位置する塩田津は、宿場町であると同時に塩田川の川湊町として物資輸送の中継拠点として発展し、「居蔵造り」と呼ばれる商家町が形成され、佐賀県南西部における政治・経済の中心地として栄えた地区である。また、嬉野宿は、大名から庶民まで多くの人々が利用する湯宿として栄えた地区である。
- 嬉野市都市計画マスタープラン(策定中)において、本地区は、都市活動拠点(温泉文化交流拠点、歴史文化交流拠点)、広域連携拠点(嬉野温泉駅地区)、地域連携拠点(塩田・嬉野連携拠点)の各拠点を結んだ地区で構成され、本市の歴史・文化、にぎわいや活力、また生活の拠点となる地区である。
- 温泉文化交流拠点(嬉野市街地地区)においては、既存の都市機能の集積特性を活かし、多様な都市活動機会を提供することや、嬉野温泉のブランド力の活用と医療・保養等と連携した新たな価値の創出を目指している。また、歴史文化交流拠点(塩田市街地地区)においては、公共サービス機能の立地特性を活かし、市民の文化・交流活動の拠点機能を整備するとともに、塩田津の歴史特性を活かし、特色ある暮らし・生活文化を発信する観光地の創出を目指している。
- 九州新幹線西九州ルート¹の開通に併せ、嬉野温泉駅周辺整備に向けた計画策定を進めている。「新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本構想・基本計画(平成21、22年度策定)」において、嬉野温泉駅周辺については、「人・もの・情報がふれあうもてなし交流拠点」をテーマとして、人の流れを誘導するとともに、観光や交通などの地域情報を発信する本市の広域的な玄関口としてのまちづくりの推進を位置づけている。
- 駅周辺の整備にあたっては、区画整理事業による市街地整備の推進を位置づけている。
- 本市は、「ひとにやさしいまち宣言」の趣旨に基づき、嬉野市民や、嬉野市を訪れるすべてのひとが、安全・安心に社会生活や観光を楽しむことができる「ひとにやさしいまち嬉野」の実現に向けて、「日本一のバリアフリーのまち、うれしの」を位置づけている。

課題

地域の特性を活かし、それらを連携することで、新たな魅力や活力を創出することが必要
 将来の九州新幹線西九州ルート¹の開業に向けて社会基盤の整備や人による賑わいの再生が必要
 「ひとにやさしいまちづくり」に向けて、安全・安心な都市環境の構築が必要

将来ビジョン(中長期)

- 嬉野市総合計画では、「歓声が聞こえる嬉野市」を将来像として位置づけ、「世代をこえて住み続けるまち」「個性輝く魅力あふれるまち」「活力ある自治先進のまち」「みんなで創る自立のまち」を目指している。
- 嬉野市都市計画マスタープラン(策定中)において、「集約と連携による新しい嬉野市の構築」の理念に基づき、「住むひとを信頼で支える生活安心都市」「訪れるひとを癒して迎えるホスピタリティ都市」と掲げ、全体像として「誘う・魅せる・親しむまち 嬉野」を位置づけている。
- 上記計画の地域別構想において、嬉野市街地は「地域の生活文化と非日常の都市魅力が融合し、社会的・文化的価値を生み出す広域交流のまち」、塩田街道地域は「歴史・伝統と生活文化を詰め込み、出会い、体験し、感動できるふれあいのまち」を位置づけている。
- 新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本構想・基本計画では、嬉野温泉駅周辺については、「人・もの・情報がふれあうもてなし交流拠点」をテーマとして、人の流れを誘導するとともに、観光や交通などの地域情報を発信する本市の広域的な玄関口としてのまちづくりの推進を位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
主要な交流施設の利用者数	人/年	にぎわいや交流、また市民活動の拠点となる各地区の主要施設における利用者数(社会文化会館)	地域の特性を活かし魅力を高めることで、市内外から訪れる人の増加や市民の交流が活発になることから、来訪者及び市民交流が行われる主要施設の利用者数45,000を目指す。	0	H22	45,000	H28
まちの景観に関する満足度	ポイント	市民アンケート調査による「まちの景観」に対する満足度評価	景観ガイドラインの策定やシンボリックな公園や拠点周辺において、良好な景観により訪れる人をもてなす都市空間が形成されることから、満足度3.0を目指す。 ※満足度の平均値は、「1不満」～「5満足」の評価点を平均したもので、5に近いほど満足度は高い	2.89	H21	3.00	H28
安全・安心な住環境に関する満足度	ポイント	市民アンケート調査による「安全・安心な住環境形成」に対する満足度評価	防災無線の整備、暮らしの安全・安心を支える基盤整備など、安全・安心に暮らせる生活環境が高まることから、満足度2.95を目指す。 ※満足度の平均値は、「1不満」～「5満足」の評価点を平均したもので、5に近いほど満足度は高い	2.80	H21	2.95	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(地域の魅力・活力創出に向けた、特徴ある拠点の形成…【魅せる地区の形成】)</p> <p>温泉文化交流拠点の整備 →地域および市民生活における日常生活利便性の確保や中心商業地としてのにぎわいを確保するため、空き店舗活用調査や空き店舗改修等の整備を行う。 →嬉野温泉街としてのブランド力を活用し、医療や保養といった機能との連携により、住む人・訪れる人を癒して迎えるホスピタリティ都市の形成に向けた整備を行う。 →上記機能に加え、嬉野市の地場産業(うれしの茶など)の発信と触れ合いの場となるうれしの茶観光交流館の整備により、地域の新たな価値を創出する。</p> <p>歴史文化交流拠点の整備 →塩田津の歴史的文化資源を活かし、特色ある暮らしの維持を支えることで、生活文化を発信する観光地としての整備を進める。 →塩田津の文化特性や現在の公共サービス機能の集積特性を活かして、市民の新たな交流の創出、多目的な活動の推進によるにぎわい形成拠点の整備を行う。</p>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p><input type="checkbox"/> 空き店舗改修事業【地域創造支援事業:提案事業】 <input type="checkbox"/> 誘うまち・魅せるまちづくり活動【地域創造支援事業:提案事業】 <input checked="" type="checkbox"/> うれしの茶観光交流館【高次都市施設:基幹事業】 <input type="checkbox"/> 観光茶園整備事業【地域創造支援事業:提案事業】 <input type="checkbox"/> 街なみ環境整備事業【関連事業】 <input checked="" type="checkbox"/> 社会文化会館【高次都市施設:基幹事業】 <input checked="" type="checkbox"/> 中央公園【公園:基幹事業】 <input type="checkbox"/> 事業効果分析(モニタリング・事後評価)【事業活用調査:提案事業】</p>
<p>整備方針2(連携や交流、訪れる人を迎える「もてなし基盤」の創出…【誘うまちの形成】)</p> <p>訪れる人を迎える「もてなし空間」の創出 →拠点地区をはじめ、将来の駅周辺の魅力的な街なみを創出するため、市民との協働による取り組みを通し、(仮称)景観形成ガイドラインの策定を進める。</p> <p>市民によるにぎわいの創出 →九州新幹線西九州ルートの開業を契機とした地域及び本市の賑わいと活力の創出に向けて、市民交流や市民活動の母体となる組織づくりを進めます。それら組織により、市民が親しみを持ち、来街者を誘い、地域を魅せるイベントの開催、特産品(駅弁)の検討など、にぎわいと活力の機運創出に向けた各種まちづくり活動を進めます。</p> <p>将来の新幹線開業に向けた基盤整備の推進 →九州新幹線西九州ルートの開業に向けて、区画整理事業を基本として、社会基盤整備の推進を図る。 →人・もの・情報の多様な機能、車・公共交通・徒歩をはじめ誰もが訪れやすく、また次の場所へ行きやすい駅周辺の整備に向けて、第1期事業として駅周辺地区へのアクセス道路を整備する。(社会資本が主)</p>	<p><input type="checkbox"/> 区画整理事業【関連事業】 <input checked="" type="checkbox"/> 調整池整備事業【地域生活基盤施設:基幹事業】 <input type="checkbox"/> 誘うまち・魅せるまちづくり活動【地域創造支援事業:提案事業】 <input type="checkbox"/> (仮)景観ガイドライン策定事業【まちづくり活動推進事業:提案事業】</p>
<p>整備方針3(みんなが暮らし続けたいと感じる安全・安心な住まい環境の形成…【市民が親しめるまちの構築】)</p> <p>災害に強い安全なまちづくり →災害時のスムーズな避難、危険性のある区域の連絡を強化する道路や歩道の整備を行う。 →災害に関する情報が迅速に市民へ伝達されるようデジタル防災無線整備や生活の安全を支える消防施設の整備を行う。</p> <p>市民が親しめる住まい環境の形成 →子供や地域住民の遊び・憩いの場となるとともに、安全な市街地形成に向けて、避難地としての役割を担う公園の整備を行う。</p>	<p><input type="checkbox"/> 道路事業【関連事業(社会資本総合整備計画 基幹事業(道路))】 <input checked="" type="checkbox"/> 防災行政無線整備(システム、親局)【地域生活基盤施設:基幹事業】 <input type="checkbox"/> 防災行政無線整備(嬉野市街地区戸別受信機)【地域創造支援事業:提案事業】 <input type="checkbox"/> 防災行政無線整備(中継局、市街地周辺地区戸別受信機 等)【関連事業】 <input checked="" type="checkbox"/> 中央公園、下宿公園、花みずき公園、井手川内公園、龍王公園【公園:基幹事業】 <input type="checkbox"/> 誘うまち・魅せるまちづくり活動【地域創造支援事業:提案事業】</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民参加によるまちづくりの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・「新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本構想・基本計画(平成21、22年度策定)」策定において、市民・関係機関の参加による検討を進めている。今後も市民との協働によるまちづくりを実現するため、主要な事業において、ワークショップ等をはじめとした市民参加による継続的な取り組みを推進する。 ・安全・安心なまちを構築するため、自主防災組織の形成など、ハード・ソフトの取り組みを推進する。 ○継続的な事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・九州新幹線西九州ルートの開業は平成30年頃を予定しており、区画整理事業をはじめ継続的な事業の実施が必要となる。そのため、本事業効果を最大限に発揮できるよう、第2期計画を踏まえた整備の推進を図る。 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業により整備された内容について市民に広く知ってもらい、また活用してもらえよう、情報の発信を行っていく。 	

都市再生整備計画の区域

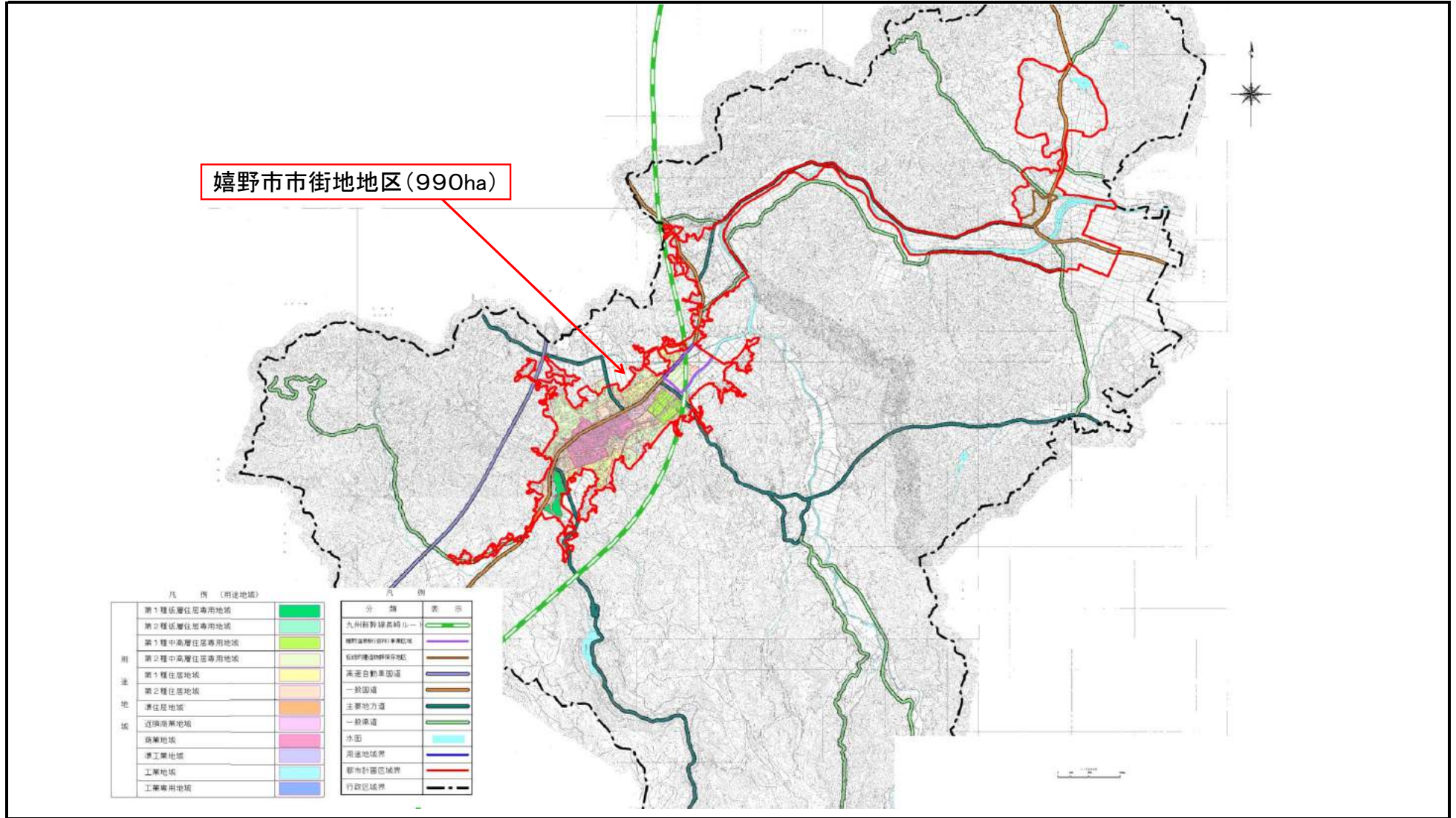
嬉野市市街地地区(佐賀県嬉野市)

面積

990 ha

区域

嬉野町(大字下宿、大字下野、大字不動山、大字岩屋川内)
 塩田町(大字大草野、大字五町田、大字馬場下、大字真崎、大字久間)



嬉野市市街地地区(佐賀県嬉野市) 整備方針概要図

目標	地域特性を発揮するまとまり(集約)ある拠点の創出と安全・安心な市街地環境の形成	代表的な指標	主要な交流施設の利用者数 (人)	0 (22年度) → 45,000 (28年度)
			まちの景観に関する満足度 (ポイント)	2.89 (21年度) → 3.00 (28年度)
			安全・安心な住環境に関する満足度 (ポイント)	2.80 (21年度) → 2.95 (28年度)

